

## 学連稽古会に参加させて頂いて

この度は、前田勝会長から、令和3年12月5日(日)開催の学連稽古会参加感想文のご依頼を頂きました。拙文ながら稽古会概要と私の稽古状況に触れさせて頂きながら感想等を述べさせて頂きます。

稽古会は、会場の東京武道館入口にて、検温、手の消毒、確認書の提出、男性参加先輩方は、2階大研修室、3階剣道場に別れて、着替えの後(女性は1階柔道場)、1階大武道場へ集合となりました。稽古会は、14時～15時45分、参加者約160名で開催されました。母校防衛大学校剣友会(OB・OG会)からは、杉田先輩S38卒、宅間先輩S61卒、村上S60卒、また、今回参加資格が、東京学連会員に限らず紹介者も参加可能とのことで、参加希望のあった現役陸上自衛官の岩崎さんの4名で参加させて頂きました。

最初の礼式、学連稽古会恒例にて、卒業年次が古い(今回はS51以前)先輩方が、上座に座られ、開会にあたり、会長の前田勝先輩・日本大S50卒から、約2年振りの稽古会の開催、学連大会の中止に伴う企画としての開催、この間、本会の最高顧問の武安義光先輩・東京大S16卒(元全日本剣道連盟会長)が逝去されたこと(令和3年2月28日、享年100歳)に触れられ、剣道の稽古は、元来厳しいもので、本稽古会もそのように感じられるかもしれませんが、怪我等無いように、楽しんで頂きたい旨、挨拶がありました。

防衛大学校剣友会から参加の杉田明傑先輩S38卒(元陸上自衛隊第1師団長・練馬)が、参加者中、最年輩のおひとりとして、上座中央付近に座られました。自分よりも20年以上も年輩の先輩が、同年代の他大学の先輩方と稽古会開始前、親しく談笑されて、お元気に参加されているお姿を拝見し、嬉しく、励みになりました。

稽古会は、前半14時～14時45分は【年代別稽古】で、男子3区分(I:20代・30代、II:40代・50代、III:60才以上)、女子1区分、合計4区分に分けて実施されました。私を含めて60才以上の先輩方の参加者が一番多く、大道場正面に向かって前方半分の区画、後方半分の正面に向かって右側3分の1が女性、中央3分の1が、20代・30代、左側3分の1が40代・50代で、パティションで区切って実施されました。前半の年代別稽古では、各区分で、列が作られ、回り稽古、2分毎、太鼓の合図により相手を交代して7回行われました。引き続き年代別で自由稽古、3分毎、稽古交代の目安に太鼓の合図があり、合計約45分間で終了しました。14時45分～15時、約15分休憩、その間、パティションは撤去され、15時～15時45分の間、年代区分なく、【自由稽古】が実施されました。前方半分に、昭和51年卒以前の先輩方と八段の一部の先輩方、後方半分に、八段の一部の先輩方が元に立たれて、空いているスペースで、自由稽古が行われました。

前半の年代別稽古、私は、回り稽古で、最初に、吉田泰将先輩・筑波大S58卒、

次に平川信夫先輩・東京教育大S38卒、最後に、森川功先輩・慶應義塾大S40卒、3名の先輩方のお名前については、失念してしまいましたが、母校先輩の杉田先輩・防衛大S38卒に稽古をお願いできました。年代別自由稽古では、最初に再度、森川功先輩・慶應義塾大S40卒、次に、千葉胤道先輩・明治大S43卒が会長をされている東京都剣道連盟月例稽古会常連の林信雄先輩・中央大S40卒、後半の年代区分無、自由稽古では、同じく都連稽古会常連の長尾進先輩・筑波大S55卒、高橋海有先輩・大正大S62、大島朗央先輩・中央大S62卒、本会理事長の数馬広二先輩・筑波大S61卒の順に掛かせて頂きました。数馬先輩に稽古をお願いさせて頂いた際には、学連方式でと、期別が1期上の私が元に立たせて頂き、恐縮でした。最後に、都連稽古会で毎回稽古させて頂いている柳田要一先輩・東京大S61卒と稽古ができました。

最後の礼式で、副会長の大芝信雄先輩・関西学院大S43卒から、「コロナ禍前、月例開催の稽古会は、比較的年輩の先輩方が大半でしたが、今回若手の先輩に多く参加頂き盛況でした。今後も積極的に参加頂き、盛り上げて頂きたい」旨、お言葉がありました。稽古会は、おひとりの負傷者も無く終了しました。

今回の稽古会、休憩を除き前後半合計1時間30分の稽古時間を設定頂き、元立ち稽古だけでなく、時間を区切って回り稽古を取り入れて頂きました。お陰様で八段の先輩方7名を含む全部で13名の先輩方に稽古をお願いすることができ、今後に向けて貴重な稽古の指針とともに、新たな剣縁を得ることができました。稽古時間、内容とも充実した稽古会で、第二道場は、現下実施困難な状況のなか、それを補う工夫を頂き、企画、準備等にご尽力を頂きました先輩方に感謝申し上げます。

学連大会は、令和元年12月の第30回記念大会以降、令和2年12月、そして今回、令和3年12月の大会は、やむなく中止になりましたが、令和4年は12月18日(日)開催予定とお聞きしております。依然、オミクロン株によるコロナ感染拡大の不安要素がありますが、令和4年は、月例の学連稽古会の再開、年末の学連大会が3年ぶりに開催され、海外の剣友を含め、多くの剣友の交流の場となりますことを祈念させて頂きます。

コロナ禍において、「稽古できることは当たり前ではない」という教訓を得ることができました。今後も稽古ができることに感謝しつつ、今回の稽古会を含めてこれまで得られました剣縁を大切にさせて頂き、機会を求めて稽古に取り組んで参りたいと思います。

有難うございました。

防衛大学校  
村上和彦(S60卒)